

私は民主連合を代表し、令和4年度野田市一般会計予算を始め、特別会計予算、水道事業会計予算、下水道事業会計予算の全ての予算について賛成の立場で討論いたします。

長期化したコロナ感染対策とロシアのウクライナ侵略が世界経済に大きな影響を及ぼしています。これら情勢の中で、国の予算が新型コロナウイルス対応に、5兆円を計上する過去最大の107兆5,964億円という新年度予算が成立しています。社会保障費や防衛費、経済対策など過去最大の予算規模となったほか、税収減少が見込まれるなか歳入歳出との格差が広がり、政府が目指している財政健全化は一段と遠のく財政状況となっています。

野田市の令和4年度予算編成については、一般会計の当初予算規模が531億7,100万円で、前年度と比較して21億9,900万円4.3%の増となり、過去最大の予算規模となっています。予算規模が大きくなることは喜ばしいことですが、予算には本来なら計上する必要がない新型コロナウイルス対策費が予算増の大きなウエートを占めているのが現状であります。

歳入の根幹である市税については、対前年度比、個人市民税が約3億8,700万円5.1%増、法人市民税約3億円25%増となり、固定資産税等を含めた市税全体では対前年度当初予算比で約9億1,500万円4.2%の増となっています。結果として令和4年度当初予算が、前年度行った財政調整基金の取り崩しを行わず、4年度末の財政調整基金残が約58億900万円見込める予算編成となることを評価いたします。

一般会計の歳出における主な事業として、総務費ではコミュニティバス運行事業の継続及び交通不便地域対策や住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金支給事業費計上を評価し、民生費における国民健康保険特別会計繰出金の増、衛生費では新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費を高く評価いたします。教育費では令和5年度に予定していた七光台小学校、山崎小学校のトイレ洋式化改修工事やその後に予定していた小学校4校の設計委託料や老朽化対策として学校施設の改修工事の前倒し計上、子ども館整備事業を評価いたします。土木費では連続立体事業・野田市駅西土地地区画整理事業、愛宕駅西口駅前広場整備事業などによる景観や利便性が高まっていくことを評価いたします。

コロナ禍で感染防止対策に配慮しながら事業を行わなければならない状況で、多くの新事業が予算計上されており、職員の負担が心配されますが、各部署の横断的な連携を図り、市民サービスの向上につながる事業になることを期待し、要望として道の駅や新清掃工場の整備事業の進捗を望み、令和4年度一般会計予算に賛成いたします。

次に国民健康保険・介護保険・次木親野井特定土地地区画整理事業・後期高齢者医療の特別会計予算及び野田市水道事業会計・野田市下水道事業会計予算につ

いて、それぞれの目的に沿った予算措置がされていることを認め、賛成討論といたします。